

第7回(2017年度)特定領域研究奨励賞 (小田賞) 受賞理由資料 (経済学部 武智一貴)

評価の高い海外学術雑誌に掲載された論文として

A) What is Driving the Manufacturing FDI Wave in Asia? Review of Development Economics 15, 33-47, 2011

B) Firm Organizational Heterogeneity and Market Structure: Evidence from the Japanese Pesticide Market (with Keisaku Higashida), International Journal of Industrial Organization 30, 193-203, 2012

C) Exaggerated Death of Distance: Revisiting Distance Effects on Regional Price Dispersions (with Kazuko Kano and Takashi Kano), Journal of International Economics 403-413, 90, 2013

等がある。

論文 A は日本からのアジアにおける直接投資行動が変動する要因について、動学モデルを推定することでサンクコストの存在や情報のスピルオーバーといった点を検証したものである。経路依存性や系列相関がある下での投資行動の推定に対してシミュレーション最尤法を用いた点も評価された。

論文 B は市場競争と企業の特性的関係性を日本の農薬産業のデータを用いて分析したものである。市場への供給パターンは他企業の行動を戦略的に考慮した下で行われるため、供給行動とその結果である市場構造は相互依存関係にある。この内生性をコントロールするためにナッシュ均衡を数値的に導出しシミュレーション積率法を用いて推定を行い、どういった企業特性が市場供給に重要か明らかにした点が評価された。

論文 C は貿易コストの規模の測定を行なった論文である。先行研究では地域間の取引の際に距離に依存する貿易コストが極めて低く測定されていた。本論文では先行研究で生じていた過少推定バイアスを同定し、正しい識別方法を用いる事で貿易コストがこれまで考えられていたものよりも大きい事を明らかにした点が評価された。

これらは査読付き海外学術雑誌に掲載されており、それぞれの分野に貢献するものとして評価されたため、第7回(2017年度)特定領域研究奨励賞 (小田賞) を受賞した。